

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約10年間（2014年1月24日～2024年1月17日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。	
主要投資対象	資産成長コース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」（以下「エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」（以下「エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
運用方法	資産成長コース	①主として、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）の受益証券を通じて、新興国の現地通貨建債券に分散投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ②当ファンドは、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
	通貨αコース	①主として、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）の受益証券を通じて、新興国の現地通貨建債券への分散投資と通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ②当ファンドは、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	資産成長コース	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
	通貨αコース	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド （資産成長コース／通貨αコース）

運用報告書（全体版）

資産成長コース	第9期（決算日 2018年7月17日）
	第48期（決算日 2018年2月19日）
	第49期（決算日 2018年3月19日）
通貨αコース	第50期（決算日 2018年4月17日）
	第51期（決算日 2018年5月17日）
	第52期（決算日 2018年6月18日）
	第53期（決算日 2018年7月17日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース／通貨αコース）」は、さる7月17日に決算を行ないました。

ここに、当作成期間中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/> <5620>

<5621>

資産成長コース

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
5期末(2016年7月19日)	9,233	10	0.1	9,641	6.5	0.5	96.1	1,861
6期末(2017年1月17日)	9,509	10	3.1	9,993	3.7	0.0	99.7	1,523
7期末(2017年7月18日)	10,101	10	6.3	10,979	9.9	—	98.9	1,346
8期末(2018年1月17日)	10,297	10	2.0	11,398	3.8	—	99.3	1,154
9期末(2018年7月17日)	9,626	10	△ 6.4	10,701	△ 6.1	—	99.0	897

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMグローバルダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承諾なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

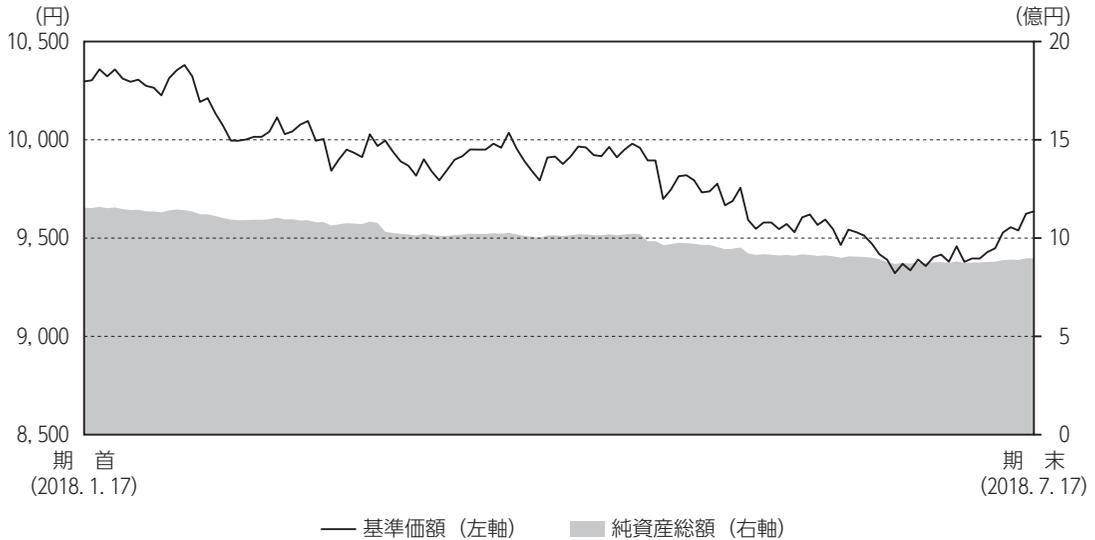
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,297円

期末：9,626円（分配金10円）

騰落率：△6.4%（分配金込み）

■ 基準価額の変動要因

債券の利息収入はプラス要因となりましたが、投資している通貨が円に対して下落したことや債券の価格が下落したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

年 月 日	基 準 価 額		J.P.モルガン GBI-EM グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首)2018年1月17日	円 10,297	% —	11,398	% —	% —	% 99.3
1月末	10,226	△ 0.7	11,347	△ 0.5	—	99.5
2月末	10,096	△ 2.0	11,195	△ 1.8	0.0	99.6
3月末	9,951	△ 3.4	11,153	△ 2.2	—	99.7
4月末	9,950	△ 3.4	11,128	△ 2.4	—	99.8
5月末	9,572	△ 7.0	10,531	△ 7.6	—	99.6
6月末	9,380	△ 8.9	10,345	△ 9.2	—	100.0
(期末)2018年7月17日	9,636	△ 6.4	10,701	△ 6.1	—	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 1. 18 ~ 2018. 7. 17)

■新興国債券市況

新興国債券市場は、個別の材料に加えて、米ドル高を背景とした新興国からの資金流出への懸念や米国の保護貿易主義への懸念の高まりの影響を受ける展開となりました。

・ 欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、中央銀行の独立性への懸念や通貨安によるインフレへの懸念が高まり、金利は上昇しました。南アフリカでは、米中貿易摩擦への懸念が高まり市場のリスク回避的な姿勢が強まったことなどにより、金利は上昇しました。ロシアでは、利下げが実施されましたが、外部環境の影響などにより金利は上昇しました。

・ アジア地域

インドネシア、当ファンドで組み入れていた2018年2月上旬までのマレーシアおよび7月上旬までのタイ、当ファンドで組み入れを始めた2月上旬以降のフィリピンでは、米ドル高を背景とした新興国からの資金流出への懸念などを背景に、金利は上昇しました。当ファンドで組み入れを始めた7月上旬以降のインドでは、金利は低下しました。

・ 中南米地域

ブラジルでは、景気悪化懸念や大統領選挙を巡る不透明感などから金利は上昇しました。メキシコでは、利上げが行なわれたことやNAFTA（北米自由貿易協定）の再交渉を巡る不透明感などにより、金利は上昇しました。ペルーでは、外部環境の影響などから金利は上昇しました。

■為替相場

投資対象通貨の対円為替相場は、個別国要因に加えて、米ドル高を背景とした新興国からの資金流出への懸念や米国の保護貿易主義への懸念の高まりの影響を受ける展開となりました。

・ 欧州・中東・アフリカ地域

トルコ・リラは、中央銀行の独立性への懸念などから対円で下落しました。南アフリカ・ランドは、外部環境の影響などから対円で下落しました。ロシア・ルーブルは、欧米との関係悪化への懸念などから対円で下落しました。

・ アジア地域

インドネシア・ルピア、当ファンドで組み入れていた2月上旬までのマレーシア・リングgit および7月上旬までのタイ・バーツ、当ファンドで組み入れを始めた2月上旬以降のフィリピン・ペソは、米ドル高を背景とした新興国からの資金流出への懸念や米中貿易摩擦への懸念の高まりによる市場のリスク回避の動きなどから、対円で下落しました。当ファンドで組み入れを始

めた7月上旬以降のインド・ルピーは対円で上昇しました。

・中南米地域

ブラジル・レアルは、景気悪化懸念や大統領選挙をめぐる不透明感などから対円で下落しました。メキシコ・ペソは、大統領選挙後に政治的不透明感が一定程度解消したことなどから対円で上昇しました。ペルー・ソルについては、期を通して見るとほぼ横ばいでの推移となりました。

前期における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」（以下「エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」といいます。）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

（2018. 1. 18 ～ 2018. 7. 17）

■当ファンド

期を通じて「エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

■エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

- ・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域ではトルコ・リラ、南アフリカ・ランド、ロシア・ルーブルに投資を行ないました。アジア地域においては、インドネシア・ルピアへの投資を継続したほか、期中にマレーシア・リングgitからフィリピン・ペソ、タイ・バーツからインド・ルピーへ通貨を入れ替え、投資を行ないました。中南米地域ではブラジル・レアル、メキシコ・ペソ、ペルー・ソルに投資を行ないました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1（年）程度～3（年）程度でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、主に現地通貨建国債からなるポートフォリオ構成としました。

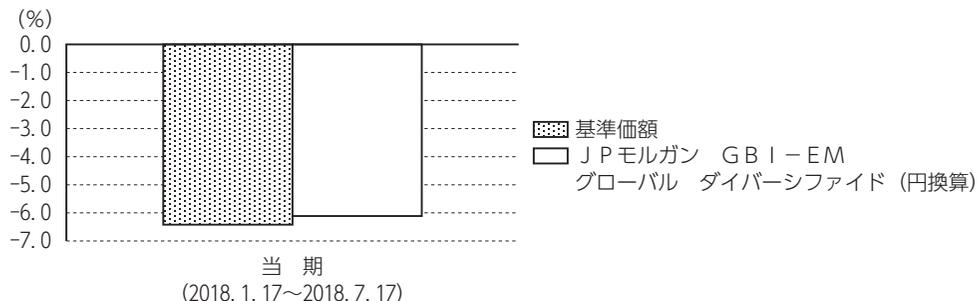
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は10円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2018年1月18日 ～2018年7月17日	
当期分配金（税込み）（円）		10
対基準価額比率（％）		0.10
当期の収益（円）		10
当期の収益以外（円）		—
翌期繰越分配対象額（円）		2,963

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	258.29円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	48.95
(d) 分配準備積立金	2,665.98
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,973.23
(f) 分配金	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,963.23

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 1. 18～2018. 7. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	57円	0.576%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,835円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0.161)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(40)	(0.402)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	57	0.580	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2018年1月18日から2018年7月17日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	412.033	32,927	2,435.7	195,900

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2018年1月18日から2018年7月17日まで)

当 期				期 末			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CAPITAL GROWTH CLASS (ケイマン諸島)	12.348	1,000	80	EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CAPITAL GROWTH CLASS (ケイマン諸島)	2,435.7	195,900	80

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CAPITAL GROWTH CLASS	11,490.878	888,267	99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	33	33	34

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年7月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	888,267	98.3
ダイワ・マネー・マザーファンド	34	0.0
コール・ローン等、その他	15,497	1.7
投資信託財産総額	903,799	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年7月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	903,799,251円
コール・ローン等	15,497,061
投資信託受益証券（評価額）	888,267,882
ダイワ・マネー・マザーファンド （評価額）	34,308
(B) 負債	6,758,598
未払収益分配金	931,908
未払信託報酬	5,786,351
その他未払費用	40,339
(C) 純資産総額（A－B）	897,040,653
元本	931,908,159
次期繰越損益金	△ 34,867,506
(D) 受益権総口数	931,908,159口
1万口当り基準価額（C/D）	9,626円

* 期首における元本額は1,121,586,484円、当期中における追加設定元本額は1,591,216円、同解約元本額は191,269,541円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,626円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は34,867,506円です。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	24,071,038円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	4,562,086
(d) 分配準備積立金	248,445,330
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	277,078,454
(f) 分配金	931,908
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	276,146,546
(h) 受益権総口数	931,908,159口

■損益の状況

当期 自 2018年1月18日 至 2018年7月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	29,898,040円
受取配当金	29,900,189
受取利息	1
支払利息	△ 2,150
(B) 有価証券売買損益	△ 85,668,822
売買益	9,057,967
売買損	△ 94,726,789
(C) 信託報酬等	△ 5,827,002
(D) 当期損益金（A + B + C）	△ 61,597,784
(E) 前期繰越損益金	24,740,444
(F) 追加信託差損益金	2,921,742
（配当等相当額）	（ 4,562,086）
（売買損益相当額）	（△ 1,640,344）
(G) 合計（D + E + F）	△ 33,935,598
(H) 収益分配金	△ 931,908
次期繰越損益金（G + H）	△ 34,867,506
追加信託差損益金	2,921,742
（配当等相当額）	（ 4,562,086）
（売買損益相当額）	（△ 1,640,344）
分配準備積立金	271,584,460
繰越損益金	△ 309,373,708

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	10円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、7月17日現在の基準価額（1万口当り9,626円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

【お知らせ】

■信託期間の延長について

信託期間を5年間延長し、信託期間終了日を2019年1月17日から2024年1月17日に変更しました。

通貨αコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
24期末(2016年2月17日)	7,266	80	0.3	9,158	1.2	1.6	96.9	8,316
25期末(2016年3月17日)	7,377	80	2.6	9,425	2.9	0.2	96.6	8,159
26期末(2016年4月18日)	7,317	80	0.3	9,591	1.8	—	97.3	7,821
27期末(2016年5月17日)	7,116	80	△ 1.7	9,494	△ 1.0	1.2	96.9	7,423
28期末(2016年6月17日)	6,761	80	△ 3.9	9,071	△ 4.4	2.0	96.7	6,665
29期末(2016年7月19日)	6,949	80	4.0	9,641	6.3	0.5	96.7	6,609
30期末(2016年8月17日)	6,763	80	△ 1.5	9,453	△ 1.9	1.0	96.2	6,215
31期末(2016年9月20日)	6,609	80	△ 1.1	9,353	△ 1.1	0.1	96.2	5,826
32期末(2016年10月17日)	6,674	80	2.2	9,589	2.5	0.2	95.9	5,566
33期末(2016年11月17日)	6,578	80	△ 0.2	9,357	△ 2.4	1.1	95.9	5,221
34期末(2016年12月19日)	6,805	80	4.7	10,103	8.0	0.3	95.6	5,127
35期末(2017年1月17日)	6,658	80	△ 1.0	9,993	△ 1.1	0.0	99.8	4,886
36期末(2017年2月17日)	6,703	80	1.9	10,316	3.2	0.0	99.6	4,827
37期末(2017年3月17日)	6,691	80	1.0	10,474	1.5	0.0	99.6	4,690
38期末(2017年4月17日)	6,477	80	△ 2.0	10,120	△ 3.4	0.0	99.5	4,320
39期末(2017年5月17日)	6,661	80	4.1	10,803	6.7	0.0	99.3	4,295
40期末(2017年6月19日)	6,498	80	△ 1.2	10,752	△ 0.5	0.0	98.0	3,989
41期末(2017年7月18日)	6,533	80	1.8	10,979	2.1	—	98.0	3,825
42期末(2017年8月17日)	6,422	80	△ 0.5	10,841	△ 1.3	—	98.7	3,659
43期末(2017年9月19日)	6,437	80	1.5	11,249	3.8	—	98.9	3,531
44期末(2017年10月17日)	6,304	80	△ 0.8	11,158	△ 0.8	—	98.9	3,314
45期末(2017年11月17日)	6,135	80	△ 1.4	10,933	△ 2.0	—	99.1	3,139
46期末(2017年12月18日)	6,141	80	1.4	11,103	1.6	—	98.8	3,033
47期末(2018年1月17日)	6,141	80	1.3	11,398	2.7	—	98.6	2,986
48期末(2018年2月19日)	5,923	80	△ 2.2	11,177	△ 1.9	—	99.5	2,811
49期末(2018年3月19日)	5,792	55	△ 1.3	10,986	△ 1.7	—	99.7	2,728
50期末(2018年4月17日)	5,729	55	△ 0.1	11,158	1.6	—	99.6	2,593
51期末(2018年5月17日)	5,589	55	△ 1.5	10,784	△ 3.4	—	99.2	2,484
52期末(2018年6月18日)	5,379	55	△ 2.8	10,406	△ 3.5	—	99.0	2,340
53期末(2018年7月17日)	5,401	55	1.4	10,701	2.8	—	99.2	2,308

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMグローバルダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承諾なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

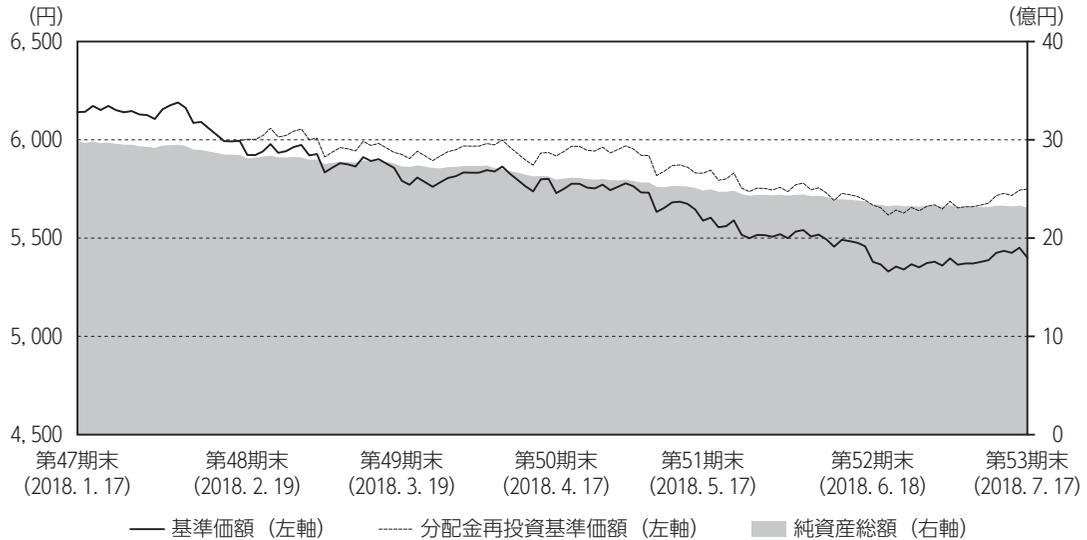
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■ 基準価額・騰落率

第48期首：6,141円

第53期末：5,401円（既払分配金355円）

騰落率：△6.4%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

通貨オプション取引によるプレミアム収入および債券の利息収入はプラス要因となりましたが、投資している通貨が円に対して下落したことや債券の価格が下落したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)

	年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン GBI-EM グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
		円	%		%	%	%
第48期	(期首)2018年 1月17日	6,141	—	11,398	—	—	98.6
	1月末	6,106	△ 0.6	11,347	△ 0.5	—	99.6
	(期末)2018年 2月19日	6,003	△ 2.2	11,177	△ 1.9	—	99.5
第49期	(期首)2018年 2月19日	5,923	—	11,177	—	—	99.5
	2月末	5,974	0.9	11,195	0.2	0.0	99.5
	(期末)2018年 3月19日	5,847	△ 1.3	10,986	△ 1.7	—	99.7
第50期	(期首)2018年 3月19日	5,792	—	10,986	—	—	99.7
	3月末	5,834	0.7	11,153	1.5	—	99.8
	(期末)2018年 4月17日	5,784	△ 0.1	11,158	1.6	—	99.6
第51期	(期首)2018年 4月17日	5,729	—	11,158	—	—	99.6
	4月末	5,761	0.6	11,128	△ 0.3	—	99.5
	(期末)2018年 5月17日	5,644	△ 1.5	10,784	△ 3.4	—	99.2
第52期	(期首)2018年 5月17日	5,589	—	10,784	—	—	99.2
	5月末	5,520	△ 1.2	10,531	△ 2.3	—	99.1
	(期末)2018年 6月18日	5,434	△ 2.8	10,406	△ 3.5	—	99.0
第53期	(期首)2018年 6月18日	5,379	—	10,406	—	—	99.0
	6月末	5,360	△ 0.4	10,345	△ 0.6	—	99.3
	(期末)2018年 7月17日	5,456	1.4	10,701	2.8	—	99.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2018. 1. 18 ~ 2018. 7. 17）

■新興国債券市況

新興国債券市場は、個別の材料に加えて、米ドル高を背景とした新興国からの資金流出への懸念や米国の保護貿易主義への懸念の高まりの影響を受ける展開となりました。

・ 欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、中央銀行の独立性への懸念や通貨安によるインフレへの懸念が高まり、金利は上昇しました。南アフリカでは、米中貿易摩擦への懸念が高まり市場のリスク回避的な姿勢が強まったことなどにより、金利は上昇しました。ロシアでは、利下げが実施されましたが、外部環境の影響などにより金利は上昇しました。

・ アジア地域

インドネシア、当ファンドで組み入れていた2018年2月上旬までのマレーシアおよび7月上旬までのタイ、当ファンドで組み入れを始めた2月上旬以降のフィリピンでは、米ドル高を背景とした新興国からの資金流出への懸念などを背景に、金利は上昇しました。当ファンドで組み入れを始めた7月上旬以降のインドでは、金利は低下しました。

・ 中南米地域

ブラジルでは、景気悪化懸念や大統領選挙を巡る不透明感などから金利は上昇しました。メキシコでは、利上げが行なわれたことやNAFTA（北米自由貿易協定）の再交渉を巡る不透明感などにより、金利は上昇しました。ペルーでは、外部環境の影響などから金利は上昇しました。

■為替相場

投資対象通貨の対円為替相場は、個別国要因に加えて、米ドル高を背景とした新興国からの資金流出への懸念や米国の保護貿易主義への懸念の高まりの影響を受ける展開となりました。

・ 欧州・中東・アフリカ地域

トルコ・リラは、中央銀行の独立性への懸念などから対円で下落しました。南アフリカ・ランドは、外部環境の影響などから対円で下落しました。ロシア・ルーブルは、欧米との関係悪化への懸念などから対円で下落しました。

・ アジア地域

インドネシア・ルピア、当ファンドで組み入れていた2月上旬までのマレーシア・リングgit および7月上旬までのタイ・バーツ、当ファンドで組み入れを始めた2月上旬以降のフィリピン・ペソは、米ドル高を背景とした新興国からの資金流出への懸念や米中貿易摩擦への懸念の高まりによる市場のリスク回避の動きなどから、対円で下落しました。当ファンドで組み入れを始

めた7月上旬以降のインド・ルピーは対円で上昇しました。

・中南米地域

ブラジル・レアルは、景気悪化懸念や大統領選挙をめぐる不透明感などから対円で下落しました。メキシコ・ペソは、大統領選挙後に政治的不透明感が一定程度解消したことなどから対円で上昇しました。ペルー・ソルについては、当作成期間を通して見るとほぼ横ばいでの推移となりました。

■為替ボラティリティ相場

新興国通貨の対円ボラティリティは、おおむね上昇しました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」（以下「エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」といいます。）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざします。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

（2018. 1. 18 ~ 2018. 7. 17）

■当ファンド

当作成期間を通じて「エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

■エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

- ・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域ではトルコ・リラ、南アフリカ・ランド、ロシア・ルーブルに投資を行ないました。アジア地域においては、インドネシア・ルピアへの投資を継続したほか、当作成期間中にマレーシア・リングgitからフィリピン・ペソ、タイ・バーツからインド・ルピーへ通貨を入れ替え、投資を行ないました。中南米地域ではブラジル・レアル、メキシコ・ペソ、ペルー・ソルに投資を行ないました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1（年）程度～3（年）程度でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、主に現地通貨建国債からなるポートフォリオ構成としました。
- ・通貨カバードコール戦略（新興国通貨それぞれについて、円に対する当該新興国通貨のコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざす戦略）を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざしました。

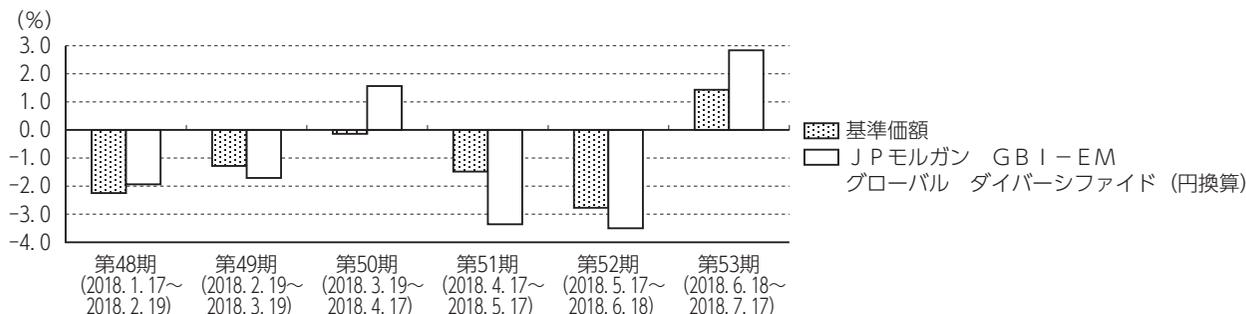
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

1万口当り分配金（税込み）は、第48期は80円、第49期から第53期はそれぞれ55円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
	2018年1月18日 ～2018年2月19日	2018年2月20日 ～2018年3月19日	2018年3月20日 ～2018年4月17日	2018年4月18日 ～2018年5月17日	2018年5月18日 ～2018年6月18日	2018年6月19日 ～2018年7月17日
当期分配金（税込み）（円）	80	55	55	55	55	55
対基準価額比率（%）	1.33	0.94	0.95	0.97	1.01	1.01
当期の収益（円）	52	49	54	49	55	50
当期の収益以外（円）	27	5	0	5	—	4
翌期繰越分配対象額（円）	68	63	62	56	57	52

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
(a) 経費控除後の配当等収益	52.35円	49.35円	54.29円	49.17円	55.67円	50.15円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	23.32	23.44	23.52	23.60	23.67	23.74
(d) 分配準備積立金	73.21	45.45	39.73	38.95	33.05	33.65
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	148.90	118.25	117.55	111.72	112.40	107.56
(f) 分配金	80.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	68.90	63.25	62.55	56.72	57.40	52.56

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■ 当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■ エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざします。

■ ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項 目	第48期～第53期 (2018. 1. 18～2018. 7. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	33円	0. 575%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は5, 736円です。
(投 信 会 社)	(9)	(0. 160)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(23)	(0. 401)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	2	0. 038	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託受益証券)	(2)	(0. 038)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	35	0. 616	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2018年1月18日から2018年7月17日まで)

決算期	第 48 期 ～ 第 53 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 2,885.03	千円 164,495	千口 8,794.753	千円 499,798

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2018年1月18日から2018年7月17日まで)

第 48 期				～	第 53 期						
買 付		売 付									
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価				
EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS (ケイマン諸島)	千口 143.873	千円 8,000	円 55	EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS (ケイマン諸島)	千口 8,794.753	千円 499,798	円 56				

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期間（第48期～第53期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 53 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS	千口 42,192.404	千円 2,289,613	% 99.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第47期末	第 53 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 96	千口 96	千円 98

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年7月17日現在

項 目	第 53 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 2,289,613	% 97.8
ダイワ・マネー・マザーファンド	98	0.0
コール・ローン等、その他	50,255	2.2
投資信託財産総額	2,339,966	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（通貨αコース）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年2月19日)、(2018年3月19日)、(2018年4月17日)、(2018年5月17日)、(2018年6月18日)、(2018年7月17日)現在

項目	第48期末	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末	第53期末
(A) 資産	2,859,920,784円	2,766,652,083円	2,657,501,531円	2,514,363,826円	2,371,051,014円	2,339,966,672円
コール・ローン等	55,278,590	37,652,367	62,639,056	49,726,874	54,176,478	50,255,613
投資信託受益証券（評価額）	2,797,558,141	2,721,316,863	2,584,185,632	2,464,538,918	2,316,776,502	2,289,613,034
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	98,053	98,053	98,044	98,034	98,034	98,025
未収入金	6,986,000	7,584,800	10,578,799	—	—	—
(B) 負債	48,043,035	37,930,277	63,577,989	29,809,143	30,822,723	31,090,263
未払金	3,493,000	3,792,400	5,289,400	—	—	—
未払収益分配金	37,981,638	25,913,668	24,901,759	24,448,298	23,926,631	23,513,053
未払解約金	3,478,429	5,697,657	30,838,712	2,831,500	4,328,260	5,326,362
未払信託報酬	3,068,578	2,487,808	2,492,007	2,456,027	2,477,073	2,145,174
その他未払費用	21,390	38,744	56,111	73,318	90,759	105,674
(C) 純資産総額（A－B）	2,811,877,749	2,728,721,806	2,593,923,542	2,484,554,683	2,340,228,291	2,308,876,409
元本	4,747,704,768	4,711,576,105	4,527,592,652	4,445,145,111	4,350,296,554	4,275,100,546
次期繰越損益金	△ 1,935,827,019	△ 1,982,854,299	△ 1,933,669,110	△ 1,960,590,428	△ 2,010,068,263	△ 1,966,224,137
(D) 受益権総口数	4,747,704,768口	4,711,576,105口	4,527,592,652口	4,445,145,111口	4,350,296,554口	4,275,100,546口
1万口当り基準価額（C/D）	5,923円	5,792円	5,729円	5,589円	5,379円	5,401円

* 第47期末における元本額は4,863,002,068円、当作成期間（第48期～第53期）中における追加設定元本額は60,712,694円、同解約元本額は648,614,216円です。

* 第53期末の計算口数当りの純資産額は5,401円です。

* 第53期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,966,224,137円です。

■損益の状況

第48期 自 2018年1月18日 至 2018年2月19日 第50期 自 2018年3月20日 至 2018年4月17日 第52期 自 2018年5月18日 至 2018年6月18日

第49期 自 2018年2月20日 至 2018年3月19日 第51期 自 2018年4月18日 至 2018年5月17日 第53期 自 2018年6月19日 至 2018年7月17日

項目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
(A) 配当等収益	27,948,913円	25,758,156円	27,091,189円	24,330,756円	26,713,196円	22,863,723円
受取配当金	27,949,966	25,758,933	27,091,892	24,331,654	26,714,498	22,864,832
受取利息	3	1	1	3	4	3
支払利息	△ 1,056	△ 778	△ 704	△ 901	△ 1,306	△ 1,112
(B) 有価証券売買損益	△ 90,592,603	△ 59,098,250	△ 27,924,427	△ 59,541,562	△ 91,601,143	△ 11,909,893
売買益	324,086	135,657	736,296	484,356	1,243,833	12,156,258
売買損	△ 90,916,689	△ 59,233,907	△ 28,660,723	△ 60,025,918	△ 92,844,976	△ 246,365
(C) 信託報酬等	△ 3,089,968	△ 2,505,162	△ 2,509,391	△ 2,473,315	△ 2,494,785	△ 2,160,725
(D) 当期損益金（A+B+C）	△ 65,733,658	△ 35,845,256	△ 3,342,629	△ 37,684,121	△ 67,382,732	△ 32,612,891
(E) 前期繰越損益金	△ 1,708,097,626	△ 1,793,313,849	△ 1,779,123,126	△ 1,771,064,425	△ 1,790,538,280	△ 1,845,399,719
(F) 追加信託差損益金	△ 124,014,097	△ 127,781,526	△ 126,301,596	△ 127,393,584	△ 128,220,620	△ 129,924,256
（配当等相当額）	（ 11,074,976）	（ 11,047,897）	（ 10,653,238）	（ 10,493,446）	（ 10,298,814）	（ 10,152,184）
（売買損益相当額）	（△ 135,089,073）	（△ 138,829,423）	（△ 136,954,834）	（△ 137,887,030）	（△ 138,519,434）	（△ 140,076,440）
(G) 合計（D+E+F）	△ 1,897,845,381	△ 1,956,940,631	△ 1,908,767,351	△ 1,936,142,130	△ 1,986,141,632	△ 1,942,711,084
(H) 収益分配金	△ 37,981,638	△ 25,913,668	△ 24,901,759	△ 24,448,298	△ 23,926,631	△ 23,513,053
次期繰越損益金（G+H）	△ 1,935,827,019	△ 1,982,854,299	△ 1,933,669,110	△ 1,960,590,428	△ 2,010,068,263	△ 1,966,224,137
追加信託差損益金	△ 124,014,097	△ 127,781,526	△ 126,301,596	△ 127,393,584	△ 128,220,620	△ 129,924,256
（配当等相当額）	（ 11,074,976）	（ 11,047,897）	（ 10,653,238）	（ 10,493,446）	（ 10,298,814）	（ 10,152,184）
（売買損益相当額）	（△ 135,089,073）	（△ 138,829,423）	（△ 136,954,834）	（△ 137,887,030）	（△ 138,519,434）	（△ 140,076,440）
分配準備積立金	21,638,583	18,756,972	17,669,067	14,723,307	14,672,473	12,318,288
繰越損益金	△ 1,833,451,505	△ 1,873,829,745	△ 1,825,036,581	△ 1,847,920,151	△ 1,896,520,116	△ 1,848,618,169

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は24ページの「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
(a) 経費控除後の配当等収益	24,858,944円	23,252,993円	24,581,797円	21,857,441円	24,218,411円	21,443,045円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	11,074,976	11,047,897	10,653,238	10,493,446	10,298,814	10,152,184
(d) 分配準備積立金	34,761,277	21,417,647	17,989,029	17,314,164	14,380,693	14,388,296
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	70,695,197	55,718,537	53,224,064	49,665,051	48,897,918	45,983,525
(f) 分配金	37,981,638	25,913,668	24,901,759	24,448,298	23,926,631	23,513,053
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	32,713,559	29,804,869	28,322,305	25,216,753	24,971,287	22,470,472
(h) 受益権総口数	4,747,704,768口	4,711,576,105口	4,527,592,652口	4,445,145,111口	4,350,296,554口	4,275,100,546口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
		80円	55円	55円	55円	55円
(単 価)	(5,923円)	(5,792円)	(5,729円)	(5,589円)	(5,379円)	(5,401円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%) の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税 (配当控除の適用はありません。) を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《お知らせ》

■信託期間の延長について

信託期間を5年間延長し、信託期間終了日を2019年1月17日から2024年1月17日に変更しました。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－
ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド
資産成長クラス／通貨αクラス

当ファンド（ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース／通貨αコース））はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド 資産成長クラス／通貨αクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2018年7月17日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

財政状態計算書

2017年5月31日

資産

金融資産（損益通算後の評価額）	\$	47,413,011
現金および現金同等物		1,703,623
未収：		
売却済み証券		862,073
利息		721,427
資産合計		<u>50,700,134</u>

負債

金融負債（損益通算後の評価額）		19,363
未払：		
受益証券の買戻し		592,305
購入済み証券		439,216
保管会社報酬		36,358
専門家報酬		18,849
報酬支払代行会社報酬		15,426
副運用会社報酬		12,822
管理会社報酬		11,324
名義書換代理人報酬		2,285
その他負債		3,280
負債（償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産を除く）		<u>1,151,228</u>
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産	\$	<u>49,548,906</u>

包括利益計算書

2017年5月31日に終了した年度

収益	
受取利息	\$ 3,718,138
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による純実現損失	(12,285,545)
外国為替取引による純実現損失	(221,586)
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による評価益の純変動	14,482,449
外国為替換算による評価益の純変動	43,357
収益合計	<u>5,736,813</u>
費用	
副運用会社報酬	189,511
保管会社報酬	165,757
報酬支払代行会社報酬	114,732
管理会社報酬	44,109
受託会社報酬	23,281
専門家報酬	18,849
名義書換代理人報酬	11,310
登録料	623
費用合計	<u>568,172</u>
金融費用控除前営業利益	<u>5,168,641</u>
金融費用	
償却可能受益証券の保有者への分配金	<u>(8,462,756)</u>
分配後および税引前損失	<u>(3,294,115)</u>
源泉徴収税	(376,924)
運用の結果生じた償却可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少額	<u>\$ (3,671,039)</u>

投資明細
2017年5月31日

債券

ブラジル

NOTA DO TESO 10% 01/01/18/BRL/	\$	483,080.67
NOTA DO TESO 10% 01/01/21/BRL/		4,147,776.92
NOTA DO TESO 10% 01/01/27/BRL/		772,159.86
ブラジル計		5,403,017.45

インドネシア

INDONESIA 8.375% 09/15/26/IDR/		492,117.12
INDONESIA 7.875% 04/15/19/IDR/		4,771,346.85
インドネシア計		5,263,463.97

マレーシア

MALAYSIAN 4.24% 2/7/18 SERIES		70,591.89
MALAYSIA 4.012% 09/15/17/MYR/		2,179,076.92
MALAYSIA 4.378% 11/29/19/MYR/		3,178,451.40
マレーシア計		5,428,120.21

メキシコ

PETROLEOS 7.65% 11/24/21/MXN/		2,737,110.24
MEX BONOS DES 5% 06/15/17/MXN/		2,455,885.09
メキシコ計		5,192,995.33

ペルー

PERU BONO SOB 8.6% 8/12/17		1,852,144.07
BONOS DE T 7.84% 08/12/20/PEN/		3,456,374.95
ペルー計		5,308,519.02

ロシア

RUSSIA GOV 8.15% 02/03/27/RUB/		644,906.41
RUSSIA GOVT 6.4% 05/27/20/RUB/		1,014,225.94
RUSSIA GOVT 6.7% 05/15/19/RUB/		3,523,417.75
ロシア計		5,182,550.10

南アフリカ

REPUBLIC O 7.25% 01/15/20/ZAR/		3,693,696.08
南アフリカ計		3,693,696.08

国際機関

EUROPEAN I 5.75% 12/21/17/ZAR/	224,834.20
EUROPEAN I 6.75% 09/15/17/ZAR/	1,358,860.93
EUROPEAN I 5.75% 04/03/18/TRY/	2,186,184.08
国際機関計	3,769,879.21

スウェーデン

SWEDISH EXP 5.5% 03/27/18/TRY/	1,340,697.02
スウェーデン計	1,340,697.02

タイ

THAILAND G 3.65% 12/17/21/THB/	628,570.17
THAILAND 3.875% 06/13/19/THB/	4,700,235.47
タイ計	5,328,805.64

トルコ

TURKEY GOVERN 8% 03/12/25/TRY/	1,145,284.89
TURKEY GOVE 9.4% 07/08/20/TRY/	769,574.44
トルコ計	1,914,859.33

債券計

47,826,603.36

ダイワ・マネー・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース／通貨αコース））が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2017年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2018年7月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を29ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄 公 社 債

（2018年1月18日から2018年7月17日まで）

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
731 国庫短期証券 2018/7/10	千円 280,000		千円
723 国庫短期証券 2018/3/5	210,001		

（注1）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

（注2）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2018年7月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（94,948,830千円）の内容です。

国内その他有価証券

	2018年7月17日現在	
	評 価 額	比 率
国内短期社債等	千円 999,997	% <1.0>

（注1）< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第13期 (決算日 2017年12月11日)

(計算期間 2016年12月10日～2017年12月11日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの第13期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位 (A-2格相当) 以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和投資信託

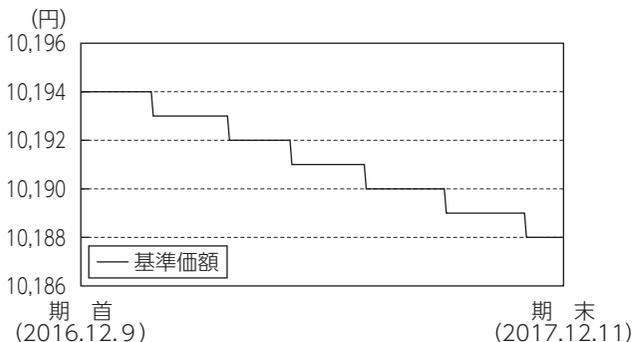
Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

ダイワ・マネー・マザーファンド

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 率	
	円	騰 落 率 %	組 入 率 %	
(期首)2016年12月9日	10,194	-		30.1
12月末	10,194	0.0		-
2017年1月末	10,194	0.0		30.7
2月末	10,193	△0.0		24.6
3月末	10,193	△0.0		-
4月末	10,192	△0.0		32.5
5月末	10,191	△0.0		5.2
6月末	10,191	△0.0		0.5
7月末	10,190	△0.0		0.1
8月末	10,190	△0.0		-
9月末	10,189	△0.0		-
10月末	10,189	△0.0		-
11月末	10,188	△0.1		-
(期末)2017年12月11日	10,188	△0.1		-

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,194円 期末：10,188円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期首より、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

国 内	買 付 額 千円	売 付 額 千円

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

国 内	買 付 額 千円	売 付 額 千円

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

買 付		売 付	
銘	柄 金 額 千円	銘	柄 金 額 千円
645 国庫短期証券	2017/2/20 27,570,641		
657 国庫短期証券	2017/4/17 17,880,344		
642 国庫短期証券	2017/2/6 17,230,250		
652 国庫短期証券	2017/3/27 16,550,132		
659 国庫短期証券	2017/4/24 16,270,410		
669 国庫短期証券	2017/6/12 15,870,490		
651 国庫短期証券	2017/3/21 13,160,344		
644 国庫短期証券	2017/5/12 11,970,533		
638 国庫短期証券	2017/1/16 9,360,075		
648 国庫短期証券	2017/3/6 7,370,272		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
国内その他有価証券

	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,999	<1.4>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	69,737,046	100.0
投資信託財産総額	69,737,046	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	69,737,046,159円
コール・ローン等	68,737,047,077
現先取引(その他有価証券)	999,999,082
(B) 負債	60,400,000
未払解約金	60,400,000
(C) 純資産総額(A - B)	69,676,646,159
元本	68,390,547,168
次期繰越損益金	1,286,098,991
(D) 受益権総口数	68,390,547,168口
1万口当り基準価額(C / D)	10,188円

* 期首における元本額は66,967,614,984円、当期中における追加設定元本額は143,241,011,614円、同解約元本額は141,818,079,430円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - A I 新時代 - (為替ヘッジあり) 977,694円、ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - A I 新時代 - (為替ヘッジなし) 977,694円、ダイワ F E グローバル・バリュー (為替ヘッジあり) 98,069円、ダイワ F E グローバル・バリュー (為替ヘッジなし) 98,069円、ダイワ / "R I C I" コモディティ・ファンド 8,952,508円、US 債券 NB 戦略ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,676円、US 債券 NB 戦略ファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型) 1,330円、NB ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>米ドルコース981円、NB ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、NB ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、DCダイワ・マネー・ポートフォリオ 2,898,147,134円、ダイワファンドラップ コモディティセレクト 317,088,630円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 米ドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド - パラダイムシフター - 9,853,995円、プルベア・マネー・ポートフォリオ IV 25,987,316,146円、ブル3倍日本株ポートフォリオ IV 31,864,786,854円、ベア2倍日本株ポートフォリオ IV 7,199,848,570円、ダイワ F E グローバル・バリュー株ファンド (ダイワ S MA 専用) 4,090,590円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配

型) 38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型) 4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 22,592円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド 164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ 68,368,780円、ダイワ新興国ハイインカム・プラス II - 金積立型 - 501,660円、ダイワ新興国ハイインカム債券ファンド (償還条項付き) 為替ヘッジあり 1,004,378円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース) 33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース) 96,254円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド - インフラ革命 - (為替ヘッジあり) 988,283円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド - インフラ革命 - (為替ヘッジなし) 4,926,018円、ダイワ米国 M L P ファンド (毎月分配型) 米ドルコース 285,029円、ダイワ米国 M L P ファンド (毎月分配型) 日本円コース 144,570円、ダイワ米国 M L P ファンド (毎月分配型) 通貨αコース 13,437,960円、ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ 1,229,944円、ダイワ・世界コモディティ・ファンド (ダイワ S MA 専用) 235,407円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース 2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース 98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース 98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース 98,202円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,188円です。

■損益の状況

当期 自2016年12月10日 至2017年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 41,076,414円
受取利息	△ 5,752,611
支払利息	△ 35,323,803
(B) 有価証券売買損益	△ 9,224
売買損	△ 9,224
(C) その他費用	△ 196,417
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 41,282,055
(E) 前期繰越損益金	1,302,196,055
(F) 解約差損益金	△ 2,715,466,915
(G) 追加信託差損益金	2,740,651,906
(H) 合計(D + E + F + G)	1,286,098,991
次期繰越損益金(H)	1,286,098,991

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。